

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課 教育委員会事務局生涯学習課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市小杉放菴記念日光美術館		
	所在地	日光市山内2388-3		
指定管理者	名称	公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館		
	代表者名	理事長 齋藤孝雄		
	住所	日光市山内2388-3		
指定期間		平成21年4月1日 ～ 平成31年3月31日		10年間
選定方法		非公募		評価実施年 10年間のうち9年目
施設設置目的		日光市ゆかりの画家小杉放菴を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の美術に關する知識と教養の向上を図り、文化の振興発展に寄与する。		
主な実施事業		(1) 美術品及び美術に関する資料を収集し、保管し、展示すること。 (2) 美術に関する専門的な調査研究を行うこと。 (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会、映写会等を開催すること。		

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	入館者数	人	11,300	10,077	11,200	10,295	10,250	11,594	11,016	13,424	10,500	
b	アンケートの実施(満足度)	%	70	97	80	98	80	70	80	85.2	80	
c	入館料	円	3,300,000	3,056,650	3,300,000	3,375,730	3,300,000	3,945,540	3,300,000	4,321,750	3,500,000	
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入計 A		66,034,958	64,918,695	71,186,730	68,366,923	0
	指定管理料	56,959,000	56,054,000	56,054,000	56,054,000	
	利用料収入 C	3,056,650	3,375,730	3,945,540	4,321,750	
	自主事業収入	1,851,480	633,270	990,550	1,441,220	
	その他	4,167,828	4,855,695	10,196,640	6,549,953	
支出計 B		65,762,107	61,795,712	67,977,282	64,882,965	0
	指定事業費	63,335,507	60,771,512	67,425,178	63,778,405	
	内人件費 D	26,793,563	247,746,592	26,508,572	21,893,646	
	内外部委託費 E					
	自主事業費	2,426,600	1,024,200	552,104	1,104,560	
事業収支 A-B		272,851	3,122,983	3,209,448	3,483,958	0
人件費率 D/B		40.74%	400.91%	39.00%	33.74%	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	
------	--

サービス改善の状況

担当学芸員によるギャラリートークの回数を増やした。

5. 管理運営状況

評価項目	評価基準	指定管理者 評価	所管課評価
① サービスの履行 の確認	法令に基づいた点検、報告の実施、個人情報への配慮、保守点検、清掃等の日常業務、緊急・災害時の市への円滑な連絡と協力等、業務の実施状況についての評価を行う。	B	B
② サービスの質の 評価	事故防止、安全確保、環境への配慮、利用者に対する接遇、苦情処理への適切な対応等、利用者に提供するサービスの質の水準を評価する。	B	A
③ サービスの安定性 の評価	専用の口座、帳簿等を備え、収支計画に沿って適切に経理、予算決算処理がなされているか評価を行う。	B	B
指定管理者所見 (成果、課題等)	【成果】 1. 企画展の開催 ・夏休み期間の企画として、絵本を中心に半世紀にわたって子どもたちに夢の世界を贈り届けてきた画家であり、2012年に文化功労者に選ばれた安野光雅氏の絵本原画を紹介する展覧会〈開館20周年記念 絵本の系譜Ⅳ 安野光雅 ふしぎな絵本の世界展〉を開催し、4,523人の入館を得た。 ・秋の観光シーズンの企画として、日光市出身の洋画家入江親氏の故郷日光を描いた作品を中心とした展覧会〈開館20周年記念 入江親 故郷—日光を描く〉を開催し、3,101人の入館を得た。 ・小杉放菴の師であると共に、洋画の黎明期でもあった明治美術を代表する画家である五百城文哉の《高山植物写生図》シリーズとともに、この20年間に当館が収集してきた五百城の全作品を、寄託作品および史料、そして県内美術館コレクションとあわせて紹介する〈開館20周年記念 没後111年 五百城文哉「高山植物写生図」の世界〉を開催し、2,019人の入館を得た。 2. 教育普及事業の促進 日光市教育委員会生涯学習課との連携事業「移動美術展」の開催に合わせた出前授業を積極的に実施するとともに、小中学校のニーズに合わせた鑑賞教室やワークショップに取り組んだ。 また、日光市教育委員会生涯学習課からの受託事業として、前年度に引き続き日光美術展「日光あーとさんぽ」事業を実施した。 3. 舞台芸術鑑賞事業の実施 美術だけでなく、さまざまな芸術文化の催しに触れる機会を提供するため、クラシックなどの音楽ステージや演劇などの舞台芸術鑑賞事業を定期的に開催した。 4. 地域連携事業 「キリフリ谷の藝術祭」コンサートの開催や「日光鉢石宿のおひなさま」への参加など、地域との連携を図った。 【課題】 1. 美術に関する教育普及事業における児童生徒の利用促進 児童生徒が興味関心の持てる美術鑑賞教室が提供できるよう、各学校へ個別にPRを行なうほか、内容等のさらなる充実を図り教育普及に努める。 2. 舞台芸術鑑賞事業の充実 利用者のニーズを踏まえ、様々な分野のテーマをバランス良く取り上げ、質の高い舞台芸術鑑賞の機会を企画する。 3. カフェメニューを定期的に見直し、カフェ利用者の増加を図る。 4. 経費節減を図るため、契約電気供給事業者を見直す。		
施設所管課所見 (成果、課題等)	・美術館の入館者数、入館料収入共に目標値を上回った。質の高い、そして市民のニーズに合った事業が引き続き実施されたと考える。 今後も入館者、入館料増を図るため、設置目的に見合った事業展開はもとより、家族も楽しめる事業等を展開するとともに、広報、宣伝活動にもさらに努めてほしい。 ・利用者のアンケート調査の結果、利用者満足度は平成28年度目標値を下回ったものの、平成29年度は上回ることができた。しかし、回収率が、平成28年度2.5%、平成29年度2.8%と低い状況にあるため、調査内容や回収方法を再考し、多くの意見を収集すべく、さらに回収率を増加させる必要がある。そして、利用者のニーズを把握し、有効性の検証を行い、より効果的な事業を展開してほしい。		
前年総合評価 ※5段階評価	B	総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A (優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B (良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C (要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。	
総合評価	A (優良) = 自己評価、所管課評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好) = A、C以外
	C (要改善) = 自己評価、所管課評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。